

オフサイトセンターの機能を守る

神奈川県川崎市、横須賀市／福井県敦賀市、三方郡美浜町／島根県松江市／鹿児島県薩摩川内市

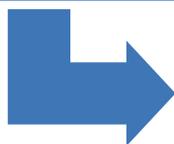
事業者：神奈川県、福井県、島根県、鹿児島県



オフサイトセンター（OFC）



防水扉等の浸水対策等



対策名：No.78 固定衛星通信設備等に関する緊急対策

事業名：原子力発電施設等緊急時安全対策交付金

ポイント ● 自然災害時におけるオフサイトセンター（OFC）の機能を維持

地域の概要・課題

原子力災害対策特別措置法に基づき指定されている緊急事態応急対策等拠点施設（通称、オフサイトセンター（OFC））は、全国に23施設あり、原子力災害対応の現地拠点として機能します。そのため、自然災害時にもOFC機能が維持するための整備が必要となります。

事業の概要

平成30年7月豪雨等の一連の自然災害を踏まえ、全国のオフサイトセンター（OFC）の建物等について、自然災害に対する被害状況や脆弱性の緊急点検を行ったところ、津波、洪水、土砂災害による被害が想定され、対策が行われていない施設が、神奈川県、福井県、島根県及び鹿児島県において、計6施設判明したため、浸水対策施設や砂防施設の整備等の緊急対策を実施しています。2021年3月（一部、2022年3月）に完了の予定です。

【見込まれる効果】

防水扉等の浸水対策施設や擁壁等の砂防施設の整備を行うことで、自然災害時におけるOFC機能を維持します。

事業の実施場所		施設名
神奈川県	川崎市	神奈川県川崎OFC
	横須賀市	神奈川県横須賀OFC
福井県	敦賀市	福井県敦賀原子力防災センター
	三方郡美浜町	福井県美浜原子力防災センター
島根県	松江市	島根県原子力防災センター
鹿児島県	薩摩川内市	鹿児島県原子力防災センター